

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	I Le 与儀 ていんら		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和8年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和8年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・各ご家庭に寄り添い、そして連携しながら、子供たちが安心できる環境づくりや、共感しながら支援ができていることが強みと言えます。	・保護者との密な情報共有や相談を行い子供たちに向き合うことに尽力しています。	・面談やイベント等の機会の提供だけでなく、保護者会の機会を提供し、困りごとや情報共有に力を入れていきたい。
2	・毎月1回、提携医院より医師による行動観察など訪問がある。	・児童それぞれの発達の特徴以外に、持病などについても理解を深めるため、学習の時間を設ける。	・発語のない児童を中心にボディサインなど、非言語的コミュニケーションにも注目して活用する。
3	・プログラム内容の固定化。 ・新プログラムについての会議の設定。	・定期的に発案し、会議、提供ができる場を設ける工夫を行う。	・日々の活動の中で気が付いたこと、工夫等あれば積極的に取り入れる方向で会議を行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所にて保護者への家族支援プログラムや研修の機会の提供不足。	・研修の実施までに至る準備や設定の段階で感染症対策による変更等があったこと。	・年間行事の設定時にプログラムの立案、研修の日程を調整をしていく。また、感染症対策も視野に入れながら設定していく。
2	・地域交流機会の提供不足。	・こども園、保育園、幼稚園等と連携し活動を行う調整の難しさがあったこと。	・年間行事の設定時にプログラムの立案、地域と連携しながら日程を調整をしていく。
3	・災害時の対応について等の情報共有の回数が都度だけでなく、利用児童・保護者が周知する取り組みの強化。	・訓練時の情報共有や既定の報告回数だけでなく、新規児童の受け入れ時等で周知できる仕組みが弱かったこと。	・訓練時、時期の報告に併せて、新規児童の受け入れ時や広報も使用しながら都度の情報共有を行っていく。